

「ボディサイコセラピー入門講座」in 名古屋

～ ボディサイコセラピー（身体心理療法）の視点からの心身相関アプローチ ～

主催：株式会社ユナイテ

協力：リズムセラピー研究所

ボディサイコセラピーは、「からだ」を導入した心理療法です。日本では、まだ一般には知られていませんが、現在、ライヒから始まったボディサイコセラピーは、精神分析の対象関係学派や発達心理学、大脳生理学、手技療法などを取り入れて進化し、ヨーロッパ、アメリカ、南米などで広まり、社会的に認められています。イタリアでは、臨床で心理療法を行うための国家資格を取得するには、ボディサイコセラピーのトレーニング受講が義務づけられているほどです。

今回の入門講座では、ボディサイコセラピーの概要と、BIPS で養成している 4 つの学派の特徴を簡単にお伝えし、全体的なイメージを掴んで頂けるよう理論的説明と体験をして頂く予定です。実際にボディサイコセラピーを理解するには、身体を通して体験して頂く必要がありますから、理論的説明だけではなく、身体での体験を通して心身の相関性を実感して頂きます。4 つの学派とは、「性格類型から人を理解し、交感神経系、自我、立った姿勢でのグラウンディングを強化するバイオエナジェティックス」「対象関係学派から家族などのシステムを扱い、自律神経系の力動でワークを進めるバイオシステムミックス」「マッサージを用いて、腸の蠕動運動に働きかけ、副交感神経系を大切にしておアやエッセンスに働きかけるバイオダイナミックス」「胎生学と心理学を結びつけたバイオシンセシス」となります。今回は、大阪で初めての入門講座となりますので、基礎的な内容を丁寧にお伝えする予定です。からだところとの相関関係に興味のある方は、この機会をご利用ください。

日程：2014年9月14日（日） 13時開始（12:30 開場）～19時終了
9月15日（祝日）10時開始（9:30 開場）～17時30分終了
※進行状況により、終了時間が遅れる場合があります。

会場：名古屋市東区（会場の詳細は申し込まれた方にお知らせします）

対象：心身の相関関係に興味のある方、対人支援職の方

定員：20名（最低開催人数：12名）

料金：27,000円（税込み）（2日間のコースですが14日のみ参加の場合、16,200円となります。15日のみ参加はできません。）

申込期日：2014年9月1日（ご入金をもちまして正式申込み完了とさせていただきます。この時点で最低開催人数に達しない場合は、開催を延期させていただきます。）

服装：身体を動かしますので、動きやすい服装でお越しください。
※会場には着替えスペースがありますので、会場に着替えることができます。

お問い合わせ先：株式会社ユナイテ 成田まで narita@unite22.co.jp
090-3834-3037

※講座内容については：リズムセラピー研究所（贅川治樹）
MAIL：office@rhythmtherapy.jp まで

お申込み方法：下記の内容をお書きの上、株式会社ユナイテ 成田までお申込みください。

「お名前・ふりがな」
「メールアドレス」
「携帯電話番号」
「講座名・参加日」
「何処でお知りになったか」

参考サイト：<http://www.rhythmtherapy.jp/bodypsychotherapy.html>
<http://www.unite22.co.jp/>（UNITE）

講師略歴 贅川治樹（にえかわはるき）

リズムセラピー研究所所長、BIPS ディレクター & 国内トレーナー、EABP（European Association for Body Psychotherapy）認定トレーナー、バイオシンセシス認定ボディサイコセラピスト、シン・インテグレーション上級施術者、セロトニン道場師範、場の研究所研究員、ヤマハ株式会社音楽と健康プロジェクト・元アドバイザー、越後奥寂庵庵主。

1992年マーク・カフェル博士に師事し、1年間南アルプス山間集落でボディワークの研鑽を積み、1993年から現在まで、延べ2万人以上の方に深部組織ボディワークを行う。1993年より5年間のバイオシンセシストレーニングに参加し、1998年に資格を得る。その後、ボディサイコセラピーの個人セッションを行うとともに、ワークショップを主催する。2006年よりBIPS国内トレーナーとして、セラピスト養成を行い、同時期にボディサイコセラピーに音楽を取り入れたリズムセラピー研究所を設立。九州大学、セロトニン道場、引きこもり親の会、韓国政府青少年委員会主催国際シンポジウム、不登校のサポート校、日本産業カウンセラー協会東京支部、リーダーシップ世界大会、コーチングフェスタ、重度身心障がい者授産施設、自治体の介護予防教室、乳幼児突然死症候群国際会議、ヤマハ音楽振興会などで講演と演習を提供している。2013年には日本の霊性を深めるために、場の研究所の研究員となる。2014年1月から2月にかけてインドのKaivalyadhama Yoga InstituteにてShri. O.P. Tiwari 師に師事し、プラーナヤマを学ぶ。

